

# CELERY



No. 7  
1990

CAMPUS  
COMMUNICATION

共に在ることが、  
私のシニアワセです。

# 霜月祭 週間近況

さあ、今年も祭りの季節がやってきた。「シンボルタワーのデザインは何だろう?」「コンサートには誰が来るの?」「ミス・キャンパスには誰が選ばれるか?」十一月二十三日から始まる学園祭を前に、様々な期待の?「マークがキャンパス内外を飛び回っている。」

こんな期待に添えたいと、毎日遅くまで頑張っているのが、学園祭実行委員会のメンバーだ。今年も百七十名が参加。最高に盛り上がる学園祭にしたいと、連日ミーティングや作業に追われている。今年のテーマは「PRESENT」とびっしり素敵なものに決まった。

主な催し(予定)

11/23(金)	オープニング セレモニー 出演 NDA・クリスタル・ハーモニー他 ダンス・パーティー お弁当コンテスト(～24)
11/24(土)	ガレーセール(～25) お化け屋敷(～25) 仮装ゴミ拾い大会 史上最大の集団お見合い 大学対抗してみませんか ゲーム&スポーツ アマチュア・バンド演奏 NDAダンス・ショー ミス・キャンパス・コンテスト 映画「メジャーリーグ」
11/25(日)	講演 カラーアナリスト 下池 瑠子 「あなたの色探してみませんか」 JITTERIN JINN コンサート フォークダンス

「参加する人にも遊びに来る人にも、この学園祭という「場」を私達が提供する事で、それぞれの心に何か残せたら、きつと素敵でしょう。そんなことを考えてテーマを決めました」と実行委員長の川上雄之介君(児童学専攻二年)。

本学の学園祭の魅力は、決して派手ではないけれど、手作りの温かさがあること。グラウンドを飾る三千枚の旗は学園祭実行委員や児童学科および幼児教育科の学生が一枚一枚書いている。中村自慢の食品パザールは日頃の勉強の成果の見せどころ。先生方も交って遅くまで仕込みをする。また幼稚園児や小学生のためには人形劇やお化け屋敷、成人病が気になる人



今年のシンボルタワーは?



ミス・キャンパスコンテスト'89

には健康教室と、本学ならではのプログラムも多い。そして、イカ天バンド「JITTERIN JINN」のコンサートで燃えるの

## 和気あいあい型? バイト優先?

—クラブ活動の状況報告から—

学生課でとりまとめられた平成二年のクラブ活動状況報告によると、クラブ加入者数は六百四十四名、短大五百一十七名で在学学生に占める加入者の割合は、大学57%、短大31%である。昨年度の大学六百七十六名(64%)、短大五百十七名(33%)と比較すると、いずれも加入率が減少している。ここ数年の推移を見ても特に大学では、昭和五十八年度の加入



率の%をピークに毎年低下している。これは全国的な傾向でもあるようだ。学生の価値観の変化からか、時間、行動、上下の人間関係などの束縛を嫌う傾向が強く、クラブ活動においても和気あいあいと自分達の好きな時間に集まって活動する愛好会型が好まれるようである。クラブ活動の目的、入部の動機を調査したアンケート調査でも従来は「自分を高めたい」というのが最も多かったが、最近では「広く友人を作りたい」というのが第一にあがってきていることからこのことがうかがえる。

### たまには静かに「芸術」を

- 定期演奏会の案内—
- 三好隆三(教授)ホルンリサイタル  
11/6(金)  
福岡銀行本店大ホール(2000円)  
開場 18時 開演 18時30分
  - マンドリンクラブ  
12/8(土)  
メルパルクホール 福岡(400円)  
開場 18時 開演 18時30分
  - 箏曲部  
12/13日(木)  
福岡市中央市民センター(350円)  
開場 18時 開演 18時30分
  - クリスタル ハーモニー  
12/16日(日)  
福岡県勤労青少年文化センター(450円)  
開場 18時 開演 18時30分



内外の環境は、クラブ活動をすすめる学生にとって恵まれた状況とはいえないが、学生生活における一つの大きな財産ともなるクラブ活動を学園もバックアップし、活性化していく方向で今後取り組みたい。

もいい。「PRESENT」に空くじ無し。但し、何かの形で参加した人のみ。学園祭の期間中にアルバイトや旅行を計画している学生も多いようだが、祭りを盛り上げるために、全学生、教職員の参加を望みたい。



あなたの健康度は……



実行委員会室で

### ボランティアの活躍に期待

十一月三日・四日の二日間にかけて行なわれる第二十六回全国身体障害者スポーツ大会(ときめきのとびうめ大会)がせまってきた。本学からはボランティアの手記コンパニオンとして大学生四十九名、短大生三十九名が、大会を側面から援助する。

九月十三日には大会事務局との最終打ち合わせも終わった。いよいよ秒読みだ。十月二十八日には式典リハールがある。各大学から参加した手記コンパニオンも一堂に会すること。ボランティアの一人、短大幼児教育科二年生の稲貝葉子さんは、「これまで一年間講習を受けてきたとはいえ、やっぱり緊張しますね」と語る。大会を成功させるためにはボランティアの活躍が不可欠。「まったくゼロからのスタートだっただけに、果たしてうまくできるようになるのか、最初は不安でしたが何とか大丈夫と思います」と幼児教育科二年の岩永里織さん。各々の役割分担も決まり、あとは本番を待つばかり。選手として出場する人達と同じように、ボランティア一人一人にとっても、この大会は晴れの舞台になることだろう。その活躍を期待したい。

### 活発に意見を交換 リーダー研修

平成二年度後期リーダー研修が九月二十九日から三十日まで、一泊二日の日程で福岡市立油山青年の家において実施された。この研修は、大学・短大の各クラス委員長及び曙・紫山・城南各寮の寮長を対象として、リーダーシップの育成とそれぞれの親睦をはかることを目的に毎年行なわれている。今回の主な内容は、学長講話、フリートークキング(学長・学生部長を交えて)、講演、スポーツ研修とかなり盛りだくさんであった。

### 中村ハル育英奨学生決定

平成二年度の中村ハル育英奨学生が決定し、九月二十一日、本学多目的ホールにて関係者列席のもと、理事長から表彰状と奨学金が奨学生に手渡された。

- 奨学生は次のとおり。
- 〔大学〕  
食物栄養学専攻 四年 権田 敦子  
管理栄養士専攻 四年 谷廣 香  
児童学専攻 四年 長通 重美  
児童教育学専攻 四年 石井 利佳
  - 〔短期大学〕  
食物栄養科 二年 市瀬智香子・荒田美紀  
家政科 二年 三島ゆかり・植松博子  
幼児教育科 二年 小野田加里・酒井美香





# がんばれ受験生！ キャンパス公開行なわれる

キャンパス公開が、快晴の天気  
に恵まれた八月一日(水)に開催  
された。

このキャンパス公開は、本学を  
一日、一般公開し、入学を希望す  
る受験生(高校二年生を含む)や  
父母の方々、および高校の進路指  
導の先生々に本学の施設・設備や  
学風を知っていただくことを目的  
として開催されたもので、今年で  
三回目となる。

事前に各高校へポスターやちら  
しを届けたり、ラジオや受験雑誌  
で案内をしていたため、従来の倍  
近い約四百五十名が来校。中には  
開始予定時刻のかなり前から見え

和はの中学校で大学が一つで、能く一人見事に  
卒業したと聞いて、果敢の決意に満足した。先生  
方や先輩方もとても親切に質問に答えてくれて、勉強の  
コツや生活のアドバイスもたくさんもらった。和はの大学の  
雰囲気や設備が素晴らしいので、絶対に合格して、卒業まで  
頑張りたいと思います。

生協のサービスがすごくいいと感激しました。  
中村に必ず合格しようという気持ちになりました。  
一番気に入った生活について、理解できたのも、食物栄養科  
の先生のおかげです。(名前を忘れてしまいました)みんなに  
お礼をいいます。

受験生の感想(アンケートから)



た受験生や父母もあり、担当者が  
あわてる一幕もあった。また福岡  
県内はもとより、佐賀・長崎・熊  
本・大分・鹿児島・山形の各県か  
らも多数の来場者があり、驚かさ  
れた。

オープニングは広報ビデオ「マ  
イウェイ」の映写。生き生きと学  
生生活をエンジョイする学生の姿  
が紹介された。映写終了後は、学  
生部長から歓迎の挨拶があり、入  
試担当者からは平成三年度入試要  
項が説明された。

その後、入学を希望する各学科  
に分かれての進学相談や施設見学  
に移った。特に在学生との面談コ  
ーナーでは、パンフレットだけで

はなかなかわからない入学後の授  
業の様子、単位の取りかた、クラ  
ブ・サークル活動の状況、寮での  
生活内容や学園祭などの学内行事  
について等々、直接先輩達から具  
体的に詳しく聞くことができた。  
大変好評であった。また施設見学  
では実際に授業で使用するパソコ  
ンにも触れ、強い興味と関心をも  
っていた。また、入学希望者から  
受験生へのアンケートでもこの  
キャンパス公開に参加してよかつ  
たという声が多数寄せられた。志  
望校選定の参考としていただけれ  
ば幸いである。受験生の皆さんの  
ご健闘を祈りたい。

## 食物アレルギー児のための アレルギー教室開催

食物栄養学科・食物栄養科  
教授 合屋長英

本年五月から毎月一回、一年シ  
リーズの表記の割合が、市内・近郊  
の母親を対象に本学で開かれてい  
る。近年、食物アレルギーと診断さ  
れる湿疹児が増加しており、治療  
を目的とする食物制限のため、調  
理をする上での親の悩みはもちろ  
ん、一部過剰診断による不必要な  
食事制限の児におよぼす心身への  
悪影響が、専門医のあいだでも問  
題になっている。この会は福岡地  
区の小児科医学会の要望によるも  
で、わが国の小児アレルギー疾患  
治療の最高水準をゆく国立療養所  
南福岡病棟のスタッフとともに、  
私たちも特に特殊食物の制限治療  
食の実践について協力している。

乳幼児の三〇%、学童の一〇%  
にもみられるアトピー性皮膚炎  
は、アレルギー症状の一種とさ  
れ、生後三・六カ月に発症し、乳  
幼児に罹患率が高いが、最近では

成人の首もふえている。乳幼児  
期では顔面や四肢伸側の湿疹、そ  
の後、学齢期に近づくにつれて蒼  
鮮化し、丘疹・痒疹が頸部・肘・  
膝の伸屈部に限局してくる。約七  
%の患者に、卵(卵白)・牛乳  
・大豆・小麦・米などのタンパク  
をアレルギーとする感作状態がみ  
られ、病状との因果関係が推測さ  
れる例も少なくない。

食物アレルギーの治療として  
は、皮膚の管理や抗アレルギー剤  
の服用などのほか、現在の皮疹に  
特定の食物アレルギーが関連して  
いることが確認された場合にのみ、  
そのアレルギーを除去・制限  
する食事療法がおこなわれる。こ  
の際、単に感作状態の原因となっ  
ているにすぎないアレルギーと、  
現在の病状をつくらせているアレ  
ルゲンとは、厳しくわけて判断され  
るべきものである。たとえば結核

や麻疹を例にすると、ツベルクリ  
ン反応陽性や麻疹抗体陽性は以前  
に感染感作されたことを示してい  
るが、必ずしも現在、結核や麻疹  
に罹患中であることを意味するも  
のではない。

今年度の日本小児科医学会(会期三  
日間)では一日の午後をすべて食  
物アレルギーのシンポジウムにあ  
て、熱心な討論がおこなわれた。  
この問題が、これほどまでに小児



科医の関心をひいたのは、ふえて  
きているアトピー性皮膚炎や気管  
支喘息などのアレルギー疾患に  
ついて、原因として食物アレルギー  
をどれだけ重くみるか、また皮  
膚症状や喘息の治療や予防と、食  
事制限のための栄養障害とのどち  
らを重視するかという、医師の考  
えかたに大きな相違があるからで  
ある。診断法に簡単で絶対的なも  
のがない今日、とくに一部に行わ  
れがちな、視診のみでの軽々しい  
断定は厳に慎まねばならない。

治療のために食事制限を課する  
時には、除去試験、誘発試験など  
厳密な診断がなくてはならない。  
治療には試験除去食より幅をも  
たせること、耐性の出現を考慮に  
入れた指導をおこなうこと、代替  
食品について十分な指導をするこ  
との三点が重要である。代替食品  
の入手法、調理法の指導、抗アレ  
ルギー剤の利用など、きめ細かい  
指導が望まれ、病院側のアレルギー  
食の研究協力を期待している。

後援会地区連絡会  
九州各地で開催

父兄後援会主催の地区連絡会が  
九月十六日の大分地区を皮切りに  
九州・山形の各県十会場で行わ  
れ、十月二十日の長崎・佐賀両地  
区をもって終了した。

連絡会では、学生生活や就職状  
況の報告、今年度前期試験の成績  
を踏まえた履修状況の説明が行わ  
れたあと、個別面談が行われた。  
今回出席された父兄は六百六十  
九名、両親そろって参加された父  
兄もあり、寮生活やクラブ活動の  
様子、就職状況等について熱心に  
質問をしておられた。

本学に在籍する学生の約三十%  
は県外出身であり、日頃大学を訪  
れる機会が少ない方にとっては、  
この連絡会が情報交換の一つの場  
になっており、提供する資料の整  
備を含め、今後ますます充実し  
た内容にすることが望まれている。

## 健康生活の ススム(6)

食物栄養学科・食物栄養科  
教授 楠喜久枝



今、私達のまわりには、食に関  
する情報や食べ物が流れています。  
豊かさをもたらす飽食による疾病  
や、今まであまり聞かなかった食  
物アレルギーによる疾病などが多  
発し、一方では、食品の無知なる  
選択による貧食が、体をむしばん  
でいる事例も多く報告されていま  
す。

近年の女性の社会進出や高度成  
長に伴ない、生活環境も急激に変  
化してきました。食の環境も、か  
つては家族の健康をみつめながら  
手作りされていた日常食までが、  
多彩なインスタント加工食品に置  
き換えられ、食事中の加工食品比  
率は60~70%を占め、ますますエ  
スカレートしそうです。

一方では、イリコやかつお節な  
ど「本物味」発見に対する関心も  
高く、かたくなに自然の味、伝統  
の味にこだわる人も少なくありま  
せん。まさに、インスタント志向  
と本物グルメ志向の二極食文化が  
混在し、自由に選択出来る時代で  
す。

食べ物に対する美味しさの感度は  
個人によって異なりますが、人  
間の五感によって味わうもので  
すから、幼少の時から豊かな感性  
を磨くことこそが味発見や感動、  
ひいては創造への喜びにつながり、  
より豊かな人生へと広がっていき  
ます。どんなに美味しい食べ物で  
も、口の中を通れば全てが栄養素  
であることを認識し、正しい知識  
や誤りなき食品への鋭い選択眼を  
身につけましょう。

スピーディで利便性の高いイン  
スタント志向の一方で、まだ根強  
く残っている日本のよき食文化を  
今一度問い直し、見つめ直しては  
いかがでしょうか。

中国に「医食同源」という言葉  
がありますが、食べることで医師  
が与える医薬品とは同次元のこと  
だということです。

飽食の時代を迎え、今こそ日本  
人はこの言葉を考える必要がある  
でしょう。

## 臨時定員増を申請

◎平成三年度の臨時定員増を次の通り文部省に申請中です。  
(数字はいずれも入学定員)

大学家政学部 食物栄養学科 管理栄養士専攻 五〇名→九五名  
大学家政学部 児童学科 児童教育学専攻 八〇名→一二〇名  
短期大学 家政科 二四〇名→三〇〇名

## 平成3年度 大学院・大学・短期大学入試要項

大学院	推薦入試		一般入試	
	大学	短期大学	大学	短期大学
出願期間	平成3年2月15日(金) ~平成3年3月2日(土)	平成2年10月12日(金) ~平成2年10月26日(金)	平成3年1月7日(月) ~平成3年1月25日(金)	
試験日	平成3年3月5日(火)	平成2年11月4日(日)	平成3年2月1日(金)	平成3年2月2日(土) 平成3年2月3日(日)
試験場	本学	本学	本学・広島・宮崎*1	本学・宮崎*1
試験科目	1. 外国語(英語) 2. 栄養学 3. 選択科目*3 4. 面接	1. 基礎的学力を判定するテスト(国語) 2. 基礎的学力を判定するテスト(英語) 3. 面接	1. 国語(国語I・II但し古文、漢文を除く) 2. 英語(英語I・II) 3. 選択科目*2	
合格発表	平成3年3月7日(木)	平成2年11月9日(金) までに行う	平成3年2月9日(日)	
入学手続 × 切日	平成3年3月16日(土)	平成2年11月21日(木)	一括手続及び 分納一次手続:平成3年2月21日(木) 分納二次手続:平成3年3月26日(火)	
*1. 地方試験場	広島 宮崎	広島ガーデンパレス 宮崎観光ホテル	広島市東区光町1-15 宮崎市松山1-1-1(大淀河畔)	
*2. 選択科目は「数学I・II(但し、電子計算機と流れ図を除く)」「化学(理科Iの化学分野を含む)」「生物(理科Iの生物分野を含む)」「日本史」「世界史」から1科目選択。 但し、大学食物栄養学科および短大食物栄養科は「日本史」「世界史」の選択はできない。				
*3. 選択科目は生化学、解剖生理学、食品学、運動生理学、臨床栄養学、公衆衛生学から1科目選択。				

一九九〇年六月上旬から約一カ月間、欧州での血管反応性に関する国際研究会に招かれたので、その感想を以下に述べてみたい。

一、血管反応性とは  
血管の中でも、動脈の反応性に関する研究が、基礎科学者や臨床研究者の注目を近年とみにひいている。動脈は心臓から拍出された血液を全身の諸臓器に、夫々の臓器が必要とするだけ供給しているが、その調節機構の詳細はわかっていない。

動脈が過剰に収縮（過収縮又は攀縮とよぶ）するために起こる疾病としては、狭心症、心筋虚血による突然死、急性心筋梗塞の一部、クモ膜下出血に伴う脳動脈の攀縮など、生命の危険を伴うものから、手指が白くなって痛むレイノー病や、白癩病等があげられる。その他、高血圧症も近年動脈の収縮過剰によると考えられている。しかし、これら動脈の収縮過剰が何故おこるのか、その機序は目下のところ不明である。

約十年前までは、血管反応性の変化を評価し、研究する有力な根拠と具体的研究方法がなかったといつても過言ではない。

動脈の内腔側は唯一層の内皮細胞で蔽われている。古くから、この血管内皮細胞は血管内で血液が凝固するのを防止することに役立つていることは知られていたが、その他の機能、特に血管の反応性

に重要な役割を果たしていることがわかっていなかった。

一九八〇年 Furchgott, R.F. と Zawadzki, J.V. により、兎の大動脈内皮細胞から、動脈を拡張する物質が遊離されていることが報告され、俄かにこの方面の研究が進められてきた。その後、英国の Moncada, S. により、この内皮由来の血管拡張物質は NO (Nitric oxide) であることが明らかにされた。他方、我が国の筑波大学薬理学の眞崎知生教授らは、培養した血管内皮細胞から分泌放出される血管収縮物質を遊離し、その構造と機能を明らかにすることも

## 血管反応性に関する国際研究会に出席して

大学院栄養科学研究科 教授 中村元臣

に、この物質をエンドセリンと命名した。現在、血管内皮細胞と、その直下に存在している血管平滑筋細胞や、血中のリポ蛋白・血小板・白血球などの血液成分との相互作用に関する研究が、基礎科学者のみでなく、臨床医の間でも広く行なわれ、著しい速度で進展するに至り、今回の国際研究会が開催されるに至ったものと思われる。

一、国際研究会での話題  
六月中旬に、冠状動脈（心臓の筋肉を栄養している動脈）に焦点を絞った研究会がオーストリアの Gargellen で、六月下旬には、ベルギーの Antwerp で血管内皮細胞

由来の血管拡張物質 (Endothelial derived relaxing factor (s), EDRF と略されている) に関する研究会が夫々開催された。

(1) ガルゲンでの研究会は、フライブルグ大学応用生理学の Bassenge 教授らのよびかけで開かれた。チューリッヒ国際空港から約三〇〇km 離れたスイス国境の村、カルグレンのホテルに参加者全員が泊りこんで研究会は行われた。参加者は限られ欧米を中心とし、日本からは私一人であった。私が招かれ要請された内容は、我々が長年かかって開発して来た冠状動脈攀縮に関する研究の詳細に

ついて、論文を読んだだけではわかりにくい研究のノウハウを発表し、詳しく討議に加わってほしいというものであった。現在、ヒトの狭心症、心筋虚血による突然死、急性心筋梗塞を、冠状動脈硬化の存在下に、確実に誰でも再現性よく起こすことの出来る病態動物モデルは我々の他にはない。議論は会場での討論に止まらず、休憩時間や食後にホテルの周辺を散策している間も、多分実際に研究をしていると思われる若手研究者から、いろいろと質問攻めにあつた。この様な限られた人々が人里離れたホテルに泊り込んで話し合

うと、研究内容の討議に止まらず、研究者相互の間に親しみが生まれ、その後の研究や、交流に役立つ好機でもある。

この研究会では、冠状動脈の動脈硬化と攀縮、血中リポ蛋白や血小板による冠状動脈過剰収縮との関係、血管作動物質の由来や、その受容体を介する細胞内情報伝達機構といった基礎的問題のみでなく、ヒトの心疾患における研究など、分子生物学から臨床まで、幅広く冠状循環の調節とその破綻による心疾患発症機序に焦点をあてて文字通り膝をまじえて親しく、また、厳しく討議が行われ、私に

とつて極めて有益であった。(2) アントワープの研究会は、アントワープ大学薬理学 A.G. Herremans 教授の主催により開かれた。この研究会では EDRF 発見者の Furchgott 教授、EDRF は NO であることを発見した Moncada 教授らを含め、主に基礎科学者が参加されていた。わが国からも上述の眞崎教授や、滋賀医大薬理学戸田昇教授らが参加しておられた。

研究の話題は、EDRF は NO だけが、NO 生成過程とその酵素の精製、NO の遊離機序、NO 作用抑制化合物の合成とその作用効果、NO とイオン、とくにカルシ

## 国際シンポジウムに参加して

食物栄養学科・食物栄養科 助教 原孝之

な学会です。

私は、現在、副腎皮質のステロイドホルモンを合成するチトクローム P<sub>450</sub> (SCC) と呼ばれる酵素とそれに係わる二つの酵素の反応メカニズムと構造について研究しており、今回は「Structure-Activity Relationships of Mitochondrial Steroid Hydroxylase Covalent Complexes」という題でポスタープレゼンテーション（ポスターを貼ってその場にやってくる研究者とディスカッションをするやり方）で発表してきました。丁度写真(上)のようにして相手とディスカッションするわけです。

今回、学会がヨーロッパで開かれたのと、ベレストロイカの進行でソ連からも多くの学者が参加していましたが、その中に私の商売仇



## 元気なサークル (4) N・D・A



体育館から流れてくるポップなサウンド。N・D・A (ナカムラ・ダンシング・アソシエーション) は只今、学園祭に向けて猛レッスン。

昨今のフィットネスブームを反映してか、部員も45名とにぎやかだ。大学に入学してからダンスをはじめた部員がほとんど。「かっこよくて、楽しそうな雰囲気なので入部しました」という大野智恵子さん(短大・幼児教育科2年生)。「でも派手なサ・クルだと思われているんですよ」と笑うのは支部長の大村知加さん(大学・児童教育学専攻2年生)。

みんな「ダンスが大好き」という共通の趣味をもっている。曲は流行のユーロビートサウンドでかなりアップテンポ。それぞれが好みのレオタードに身を包み、ダイナミックに踊っている姿を見ると、こちらも体がムズムズしてくる。

他大学を回り、本学の学園祭のPRをしたり、天神イムズの広場で公開ダンスをするなどイベントも多く企画され、意欲的に活動している。そのためか、レッスン中の部員の瞳はキラキラとかがやいている。「みんな自分が主役だと思って踊ってるんですよ。和気あいあいとしたサークルですので、だれでも大歓迎」と大村さん。「やせたい」「美しくなりたい」という願望をかなえてくれそうなNDA。躍動感一杯、若さ一杯のステージが楽しみだ。



の Usano 教授がいて、初めて話をすることができました。また、三十五から四十歳という感じで、若いのに偉いなと感心しました。彼は、例のチトルノブイリの原発事故のあったちよつと北のミンスクの生命科学研究所の教授です。来年五月に文部省科学研究費によって日本に招待されることが決まっています。中村学園大学にも、来てくれるように頼んできました。彼と話をできたのが私にとって一つの大きな収穫でした。

さて、固い話はこのくらいにして、学会の内外の話をしたと思います。まず、学会の開かれた場所ですが、あのノーベル医学・生理学者を決定するカロリンスカ研究所というところです。写真(下)の建物は、おそらくノーベルの財産の寄贈によってできたのでしよう。「ノーベル研究所細胞分子生物学研究所」と書いてあります。

研究所の人口にはタンパク質を protein と命名した一人と言われているベルツェリウスの胸像がありました。明治以前から研究が行われていたのでしょうか。この研究所から、ノーベル賞をもらった人の名を挙げると、最近では、サムエルソン(プロスタグランジンの研究)、オイラー(神経伝達物質の研究)などをあげることが出来ます。

ストックホルムは、多くの入江や島を橋でめぐらされてきていて、水と緑の美しい街です。カロリンスカ研究所の中もまさに緑あふれたすばらしい研究所でした。

国際学会では、いつも楽しいパーティーがあつて、リラックスティーがあって、お互い歓談できるのも一つの大きな成果です。今回は、ストックホルムから船をチャーターして、約一時間のボートクルージングと、郊外の美しい島でいわゆるバイキング料理のパーティーがありました。隣にフィンランドのヘニネンという偉い人が座っていました。お互いジョークを言っ



# 豊かな心をつくらう

## 公開講座が開かれる

第十七回夏季公開講座が八月二日、三日の両日、多目的ホールで開催された。初日のテーマは「二十一世紀に向けた日本人の栄養の諸問題」 倉恒学長が、成人病の増加に悩む先進諸国と一方では飢餓に苦しむ貧しい国々がある中で、これからの日本人の栄養に関する諸問題について講演。これを受けて、栄養の基礎の立場から生化学の原孝之助教授、実践の立場から栄養指導の城田知子助教授、林辰美講師が講演された。

第二日は「子供の健康を考える」と題し、午前中は体育学の松本壽吉教授が健康科学の視点から幼児期の生活習慣と健康の関係を

—地域社会における福祉と教育を考える(Ⅲ)—

日	月/日	講義主題	講師
1	10/6 (土)	開講式 挨拶 オリエンテーション	中村学園大学学長 倉恒匡徳 (財)地域福祉振興基金理事長 水野 勲 事務長
		在宅福祉をすすめる	梅光女学院大学教授 田 鍋 秀 則 地域福祉振興基金理事
2	10/13 (土)	生活と音楽①—楽器の話—	中村学園大学教授 三 好 隆 三
3	10/20 (土)	地域の中での人との付き合い —自分に気付く—	中村学園大学講師 加 島 シヅエ
4	10/27 (土)	生活と音楽② —リズムのついでリフレッシュ—	中村学園大学講師 久 富 きよ子
5	11/10 (土)	生活の中の化学	中村学園大学教授 山 藤 圭 子
6	11/17 (土)	地域にねざす教育と福祉 —地域の素材を生かす—	中村学園大学講師 谷 口 憲 由
7	12/1 (土)	今、改めて「食」を問う —食文化の視点から—	中村学園大学教授 楠 喜久枝
8	12/8 (土)	現代社会における情報処理 —生活とコンピューター—	中村学園大学助教授 島 内 博 行
9	12/15 (土)	世界の人々の健康	中村学園大学学長 倉 恒 匡 徳
		閉講式 修了証書授与 挨拶	中村学園大学学長 倉恒匡徳 (財)地域福祉振興基金理事長 水野 勲 受講生代表

(講義時間) 13:30-15:30 但し、開・閉講式の日は13:30-16:00  
(場 所) 中村学園大学多目的ホール

今年度科学研究費補助金交付決定まる  
平成二年度文部省科学研究費補助金の交付が、六月二十二日付で決定した。本学に関するものは次のとおり。

- ▽ライフステージに即した健康生活習慣の指導に関する研究 (代表者) 松本 壽吉 (健康学) 生活形態に関する研究 (分担者)
- 教授 樋口 公男 (栄養生理学) 食生活に関する研究
- 助教授 城田 知子 (栄養指導) 研究
- 教授 白木 静枝 (保健体育学) 運動生活に関する研究
- 助教授 田中 浩子 (保健体育学) 研究
- 教授 富崎 望 (保育原理) 健康教育に関する研究
- 助教授 林 義樹 (教育原理) 研究
- 教授 今村 英夫 (公衆衛生学) 身体的健康に関する研究
- 教授 後藤 昌義 (病態栄養学) 研究
- 教授 篠原 忍 (児童心理学) 精神的健康に関する研究
- 助教授 安部 恒久 (臨床心理学) 研究

# 学園回想 (6)

## 中村学園大学の設置認可

中学校法人中村学園理事長 中村 久 雄

大学を新設する場合、どのような学部を置き、どのような学級を設けるかは重要な決断に属する。前号で述べたように、この大学設置のそもそもの動機が、食物栄養に関する高度の教育研究を行うことに関することだったので、食物栄養学科を置くことには誰も異論は無かった。

従って学部も必然的に家政学部に落ちついた。ところが文部省が定めた大学設置基準では、一学部以上二学科以上設けることとされていた。創立者中村ハルは熟慮の末、他の一学科は児童学科にすべきであるとの決心を固められた。

私は早速東京、関西方面の児童学科を置く大学を訪ね実態を調べて回ったが、結果は悲観的にならざるを得なかった。どの大学も「四年制大学の児童学科は余り薦めませんね。学生の集まりが悪い。短大の方には受験生が殺到しますがね」という有様なのである。

新設する大学の学部、学科、定員等は理事会の決議を要する。この理事会で、中村ハルは「学部」家政学部、学科「食物栄養学科、児童学科の二学科」で提案され

た。理事会では珍らしく長時間の議論が重ねられた。私は調べてきた他大学の例を挙げ、児童学科は経営的に苦勞の種を作ると言ふも、この際、もう一学科として家政学の方が無難であると主張した。この席で、中村ハルが言われた言葉が未だに記憶に残っている。「私が創りたい大学は、からだ作りの基「食物栄養学科、人づくりの基「児童学科、是非承認して頂きたい」と。理事の方々も創立者の教育者としての夢には抗す術も無く提案通り可決され、ここに児童学科は日の目を見ることになった。実際、発足後七、八年間は案の定、同学科の学生募集に苦勞したものである。二十数年経た今日、同学科の発展ぶりを見ると全く今昔の感に堪えない。

大学新設に必要な認可申請書類は昭和三十九年九月末、文部省に提出された。いよいよ認可の可否について、文部省内の審査にかかる訳である。審査の過程で書類の不備や差し替えに即応できるよう、文部省との連絡係として櫻井敬君(故人)、前田文敏君(後の大学事務局長、既に退職)を東

## ちよつとインタビュー

丁賢淑さん

韓国大邱市在住。啓明専門大学食品栄養科助教授で理学博士。  
韓国政府の派遣研究教授として本年八月に来日、本学食物栄養学科の客員研究員として一年間滞在される予定。大教授のご主人と小学生の男の子が二人。

来日の目的を聞かせて下さい  
日本には学会等で何回か来たことはあったんですが、特に食物栄養部門で評価の高い中村学園大学でぜひ学びたいと思いました。  
主に食品物性について研究したいと考えています。現在、大村浩久先生、占賀麦子先生にいろいろと指導いただいで進めています。



中村学園の印象はどうですか  
先生方も熱心に指導されますが、学生がとても熱心に勉強するのが大変印象的です。また設備や器具がよく揃っていてすばらしいと思います。

韓国での状況はいかがですか  
私は食品栄養科で教えていますが、一学年百六十名ほどのうち約80%が栄養士として就職しています。人気は高く、社会的にも地位が高い職種です。栄養士は二月に行なわれる国家試験にパスしなければなりません。韓国でも調理科学分野を勉強する人が多くなっていますので、中村学園で学んだことを生かして、今後も自分の専門分野を深く貢献していきたいと思っています。

福岡での生活はどうですか  
街がきれいでよく整備されています。買い物にも便利で、夜も遅くまでお店が空いているので大変助かります。ただ(韓国は市内平均一運賃です)バス運賃が距離によってちがうのは最初ちょっととまどいました。整理券をとり忘れることがけっこうありましたね。  
大学の近くのアパートに一人住まいですが、皆さんが大変親切にしてくださいるので、特に困ったことはありません。快適に暮らしています。

## おめでとうございます

短期大学教育 教育功労者表彰  
食物栄養学科・食物栄養科 楠喜久枝教授(調理学)  
本年は、昭和二十五年に短期大学教育制度が発足してから四十周年。文部省は、この機会に短期大学教育に特に功労のあった教育関係者を表彰することになった。  
楠教授は、本学園創立時から一貫して基礎調理の教育にあたってこられた。この三十九年間(うち短大二十四年間)の功労に対し、十月二十五日、国立教育会館において文部大臣から表彰状を受けられた。

京に常駐させることにした。  
昭和三十九年十一月下旬頃のことである。朝の四時頃電話がかかってきた。大体、この時刻にかかってくる電話は碌碌なことはないと、不吉な予感にかられながら受話器をとったが、話の内容がさっぱり判らない。確かに東京の前田君の声なのだが、しどろもどろである。私にはピンと来た。しこたま酒に酔った声である。拙唎に「おい前田君、この電話は酒のおいがあるぞ、はつきりと話せ」と怒鳴りつけてやった。

私を取り直した前田君の話では、今日、文部省大学事務局庶務課に呼ばれ、「中村学園大学が開学に当って用意している校地面積が足りない。この際自主的に申請を取り下げ、出直したらどうか」との指導を受けた。私共二人は事なり行きに居ても立ってもおられず、やけ酒を呑み、今やっとな腹を決めて電話をかけたような次第、とのことである。私にとっても大きな衝撃であった。しかしここで挫けてはいけないうと、自らを励まし気持ちを落ち着かせているとき、ふつと閃めくものを感じた。不思議なことに、かつて新聞で読んだことがある松川事件(文末尾、註参照)のことを思い出していたのである。ここが上司たる者の値打ちと、わざと落ちついた声で、「前田君、そんなに気を落すな、

(註)松川事件

昭和二十四年八月、東北本線松川駅近くで列車の脱線転覆事故が起こり、国鉄労組、東芝労組員計二十二人の計画的犯行として起訴され一審で全員有罪。うち五人は死刑の判決、二審でもほぼ同様の判決、最高裁で判決棄却、差し戻し審の結果全員無罪の判決、昭和三十八年、全員無罪確定。

# 平成二年度就職状況 中間報告

来春卒業予定の学生に対する求人票の受付が、六月一日から開始された。求人の出足はかなり早目で、採用試験も解禁日の八月二十日に集中した。猛暑に明け暮れた今年の夏は、学生達や指導する教職員にとって昨年以上に大変、「暑い夏」となった。

十月一日からは各企業の採用内定開始。学生達からも順次内定のうれしい声が届けられ、担当者もホツと胸をなでおろしている。一般事務関係の今後の見通し、まだ決まっていない学生に対するアドバイスを学生課にまとめてもらった。

六月から八月の三カ月間に受けた求人件数は五百九十六件、過去最高であった。職種としては、営業職やコンピュータソフトのS・P・プログラマー職がかなり多くなってきている。一方、支店・営業所単位の一般事務職の募集は、若千名採用という所が多く、特に人気が集まる有名企業にはなかなか合格できない現状である。したがって単に知名度や会社の所在地だけでなく、さまざまな幅広い情報収集活動を心がけることが大切である。求人へのヒックは一段落したが、今後も、引きつづき受け付けているので、掲示の見落としがない

よう一つ一つこまめに求人内容を検討してほしい。また目標とする企業に対しては、積極的に自己をアピールし企業研究をおこなうこと。

今年すでに内定を手にした学生は、早い時期から先輩訪問や企業訪問をしており積極的に動いたことが好結果につながっている。未決定者はこれまでの就職説明会やセミナーで学んだことをもう一度整理して、今後もおきらめず活動を進めてほしい。自らどれだけ「動いたか」がポイントになることをあらためて強調しておきたい。再募集などの思わぬ情報もあるので、窓口となる学生課にもよく足を運んでいただきたい。

なお栄養士や幼稚園・保育園関係の求人は、これから本格化する。特に実習先とのつながりや、履歴書を預けて依頼している所との連携を密にして、忍耐強く活動していくことが肝要である。



履歴書を預けて依頼している所との連携を密にして、忍耐強く活動していくことが肝要である。

## がんばれ先輩



(株)第一勧業銀行 福岡支店 渋谷 郁子

実社会に出てから六ヶ月がたち仕事にもだいぶ慣れてきました。短期間の、私の数少ない経験からではありますが、社会人一年生として感想を述べたいと思います。学生時代は個人を評価するにはペーパーテストという方法が多く用いられたと思いますが、「実社会」では、それに加え、「自分」という個人を初めて人間性で評価してもらえるところであると思います。

## がんばれ先輩



ローランド(株) 福岡営業所 山口 知恵

私にとって就職活動は、生まれて初めて経験する無制限耐久マラソンのようなものでした。今まで経験した受験にはいつも「受験日」というゴールがありました。しかし、求人が来ていく結果が出るか全くわからない就職活動。それは、とても辛いものでした。特に一緒に活動を続けた友人が先に内定したり、今まで何の活動

ですから、今まで多くの先輩方は私たちに「自分自身について考えて下さい」と言われてきたのだと思います。この言葉を私も皆様へお送りしたいと思います。そのためには、自己分析を十分に行うことが大切だと思います。過去において自分がどのような環境の下で、どのように成長したか、現在の自分は何を考え、何をやっているのか、そして将来自分はどのような生き方をしてみたいのか、ということを考えてみればよいと思います。そうすれば、自分の進むべき道、社会の中で進むべき道の方向が見えてくるでしょう。

きことは、自分自身の力で「前へ」の精神で頑張っていって欲しいと思います。具体的には、「これだけは絶対に他人に負けない」、「これだけは絶対に他人に負けたくない」と思えるものを身につけて下さい。語学、音楽、スポーツ、とにかくなんでもよいのです。自分には何もないと思っている人も、これから始めても決して遅くありません。何か一つ身につけて下さい。以上が、私が皆様にアドバイスできることです。どうか安易な決定や、中途半端な妥協をすることなく、有意義な学生生活を送って下さい。(平成二年三月短大食物栄養科卒業)

もしなかった人が縁故などで簡単に内定したりした時は「どうして私だけ...」と悲観的になったりもしました。そんな時に私の支えになったものは、「決して妥協はしない」という気持ちで五月から半年以上も就職活動を続けたという意地と誇りだけでした。

私の場合、十二月に現在勤務する会社からの求人が舞い込み、一度は捨てた音楽に携わる仕事という夢を実現するためにすべてを賭け、その結果内定を頂くことができました。幼児教育科の学生が企業へ就職する場合、就職活動の時期がちょうど実習とぶつかるといふ障害があります。しかし、その障

あり、学校の勉強だけでは足りないということがわかりました。その中のいくつかを紹介します。実習生だけのおやつを作って、病棟の患者さんに食べてもらった時のことです。患者さん一人ひとりに配っていると、あるおばあさんが「糖尿だから食べられない」と、寂しそうな表情で言っていました。でも、私たちはそういう患者さんのために、マーマーを使ったおやつを別に作っていたので、「食べられるように作ってありますから、これを食べてもいいんですよ」と勧めると、とても嬉しそうに食べてくれました。自分たちが作ったものを患者さんが本当に喜んで食べてくれているんだと思うと、私も嬉しくなって、胸があつたくなりました。患者さんに食事について関心をもってもらい、理解し納得してもらうまでには、大変な努力と苦労があると思います。が、患者さんがそれを食べてくれた時の栄養士の感動はとても大きいと思います。

秋から冬にかけての苦しい季節。まだ内定が決まっていなかった後輩へ贈る言葉は、ありきたりですが、「Never Give Up」それだけです。ゴールまであと、一メートル！(平成二年三月短大幼児教育科卒業)

施設実習レポート  
**泣いた、笑った**  
10日間  
短大 幼児教育科2年  
山本 洋子

夏の暑い中、養護施設で十日間の泊り込み実習を初めて体験しました。施設は、幼稚園や保育園と違い、三歳から十八歳までの幅広い年齢の子供達がいいます。その子供達一人一人に言葉かけしたり、触れあつて溶けこんでいくのに最初は戸惑いを感じました。こういう私の気持ちとは反対に、実習生慣れしているらしく子供達の方から話しかけてくれ、初日の緊張がほぐれました。

子供達は、活発で伸び伸びしているのですが、親の事や家の事を話している時などは、明るい中にも淋しさがあるような気がしました。施設にはいるんな理由、家庭

的な事情で、親と一緒に生活できない子供達が集団生活をしていきます。それぞれの心の中には大きな傷を持っている子供も少なくありません。なかなか集団生活に入れない子もいます。中学生、高校生くらいになると、自分の世界をつくってしまえば反発した人もいます。個性豊かな子供達一人一人の性格を理解して、集団の中でいかに良い方向に導いてやるか、少しでも家庭に近い安定した生活・充実した生活を送れるようにしてやるのが重要だと思いました。

そのためには何よりも子供との信頼関係が大切だと思います。子供にとって先生というのは親みたいなものですから、お互いに心をひらいて全身でぶつつかっていくくらいの気持ちをもって接する必要があります。今回の実習は、泣いたり笑ったり、ショックをつけたりした事もたくさんありました。十日間という短い期間でしたが、よい経験が

病院実習レポート  
**やっぱり**  
栄養士になる!  
短大 食物栄養科2年  
中尾 千佳子

私は、佐世保市にある長崎労災病院で二週間実習をしました。現場でしか学べないことがたくさん

あり、学校の勉強だけでは足りないということがわかりました。その中のいくつかを紹介します。実習生だけのおやつを作って、病棟の患者さんに食べてもらった時のことです。患者さん一人ひとりに配っていると、あるおばあさんが「糖尿だから食べられない」と、寂しそうな表情で言っていました。でも、私たちはそういう患者さんのために、マーマーを使ったおやつを別に作っていたので、「食べられるように作ってありますから、これを食べてもいいんですよ」と勧めると、とても嬉しそうに食べてくれました。自分たちが作ったものを患者さんが本当に喜んで食べてくれているんだと思うと、私も嬉しくなって、胸があつたくなりました。患者さんに食事について関心をもってもらい、理解し納得してもらうまでには、大変な努力と苦労があると思います。が、患者さんがそれを食べてくれた時の栄養士の感動はとても大きいと思います。

私にとって、この二週間の病院実習は勉強になることばかりで、とても充実していました。親切に多くのことを指導くださった栄養士さんには本当に感謝しています。「私はやっぱり栄養士になるんだ」と心に決め、お世話になった病院を後にしました。

## 研究室から

家政科 梶田 鈴子 先生



私たち、梶田ゼミは「パソコン、ワープロ大好き!」「もっと上手にワープロが打てるようになりたい!」と思う学生の集まりで、現在、前期ではワープロ、後期ではパソコンの勉強をしています。

梶田先生の目標は、日本商工会議所主催ワープロ技能検定2級に合格する学生を育てること。そのため、夏休みには、2級合格を目指すゼミ生を対象に週2回特訓が行われ、参加者は猛暑の中、汗を流しながら難しい問題にもチャレンジして頑張りました。宿題や特訓と結構大変ですが、私たち自身の努力によって一人一人が確実に実力を身につけていっているよう

です。そして後期のパソコンでは、BASICで卒業作品のプログラムを組むことになっています。頭を悩ませそうですか、私たちなりに『頑張った』と満足できるような作品を残したいと思います。私たちのゼミには、梶田先生の他に、3人の助手の先生がおられ、4人共おもしろくて優しい先生方です。それに、家政科の他のゼミと同じように、茶話会やコンパなどをしたり、先輩に就職に関する話を聞いたりしています。そして、もちろんパソコンでゲームを楽しんでみたり、と息抜きもしています。



## 児童教育専攻の卒業生を中心に 「児童教育懇談会」発足!



長い夏の日の薄暮まで熱心な話し合いが続いた。夏休み中のそれぞれの学校の諸行事の間隙を縫って、準備会を重ねること四回。「発会趣意書」「結成の集いの案内文案」「会則案」「返信八方

児童教育専攻の卒業生を中心に、児童教育に関わる待望の学びの組織が八月十八日、西一号館大講義室において会員百三十人でスタートした。小学校に勤務する各地の卒業生からの声が、ようやく結実したわけである。まずは第一回卒業生で固めた発起人会が、六月九日午後三時から本学の西一号館「教職課程研究センター」で持たれた。早速、会則案の検討がなされ、拡大発起人会や今後の歩みなどについて暮

キの書式」等が練り上げられ、一方、振替口座の開設、ゴム印の注文、封筒・ハガキの買入れ、コンピュータから打出した七百五十人に及ぶ住所氏名ラベルの貼付など学内の助手の方々の適切・機敏な助力をいただいで、案内状の発送を終えたのは七月中旬であった。会則の要点を左に。

本会は、児童教育に関する研究・実践の情報を交換し、会員相互に資質の向上を図るを目的とする。

(第二条)

本会の活動 (第三条)

・会誌「児童教育のひろば」の刊行

・目的達成に必要な活動

本会の会員 (第四条)

正会員

1 本学児童教育学専攻の卒業生並びに在学学生で希望するもの

2 本学及び中村学園短期大学の卒業生で希望するもの

特別会員 児童学科の教員

会長(井上勇)・役員も決まり、倉恒学長の祝辞の後、糸永敏明君の長縄連続跳びに取り組んだ作文指導の実践報告がなされ深い感動を呼んだ。続いて三原助教から、実践記録をどう考えよう生かすかの講話があった。

この後、一階喫茶室に移動。約五十人の会員に、中村久雄理事長・倉恒学長・三好学科長をはじめ、児童学科の先生方も参加されて懇親会が催された。なごやかな

交歓の中にも新たな決意を胸に温めて午後二時散会した。本会が会員の「学びの場」として大きく成長することを期待している。

### コンピュータ講習会 が行なわれる

情報処理センター主催の夏期講習会が、九月三日から十四日まで開催された。今回は汎用コンピュータの端末操作と統計処理プログラムの利用方法に加え、新たに普及コンピュタにさわる機会の無い人達も参加できるようにと、入門コースも設けられた。



講師は、酒見助教、梶田講師、石丸情報処理センター主任の三人。受講生は学生、教職員合わせて延二百五十五名となった。わかり易い丁寧な指導に、初めて参加した受講生は、「むずかしいものだとばかり思っていたのですが、これならコンピュータと友達になれそう」と語っていた。

## ヨーロッパ研修旅行に参加して

学生課長 久保田 義 昭

七月二十一日から八月十一日までの二十二日間ヨーロッパ研修旅行の機会をいただき、八ヶ国十五の都市を廻りました。

私にとっては初めての海外旅行であり、多少の不安もありましたが、いざ出発してみると同行の皆さんともすぐ親しくなり大変良い思い出となりました。十五の都市すべてが素晴らしいものでしたが、とくに印象に残った都市について感想を述べたいと思います。

シベリア大陸を横断するKLMオランダ航空の直行便にて、一路アムステルダムへ。今回のコースはギリシャから入りイタリア、オーストリア、ドイツ、スイス、フランス、イギリスと北上していくので古代から中世、そして近世へと移っていく様子がよく分りました。中でもギリシャ、イタリア、スイスが印象に残っております。

ギリシャはアクロポリスの丘にあるパルテノン神殿をはじめ、国立考古学博物館の数多くの彫像、陶器類、装飾品等実に素晴らしいものでありました。イタリアでは素朴な人間性と申しましようか大変おもしろくあり、人情味ある人々と出会いました。ローマのサンピエトロ大寺院、コロッセオやナポリ、ポンペイの遺跡、ウフィツィ



— タワーブリッジを後に —

またスイスでは森と湖に囲まれたルツェルンの町がとても美しく、ロイス川にかかる木橋(カペル橋)には多くの板絵が飾られ、川畔を歩く人々の姿と川の流れが自然に感じられとても情緒的でした。一方、雄大なユングフラウヨッホや静かなレマン湖に浮かぶシオン城など、自然の美を見ることができました。

ヨーロッパでは個人を尊重し、物や道具を大切にし、さらにそれらを後世へ伝えていこうという気持ちでどこを廻っても伝わってきます。これからますます国際化、情報化していく中で私もこれを機に広い視野に立ち仕事をやっていきたいと思っております。

## 子育てと我が道

魚住 修

管理栄養士専攻四回生として卒業後、もう二十年近い歳月がたちます。今は亡き恩師、馬場久先生の勧めで、富士五湖の一つ河口湖畔のレストランでのスイス料理の勉強から私の道が始まり、スイス、ベルギー、モンテカルロを経て、今パリのホテル・プラザアテネで十五年目のヨーロッパ生活を迎えるようになっています。

二人目の男児誕生により、精神的にだいたい落ちついてきたように思いますが、これからは子育てと自分のやりたいことの達成とを両立させなければならぬ荷を背負っているように思います。

子供達には日本語がしゃべれるようになることを心から望んでいます。日本で考えられている程、簡単ではありません。長男誕生の日から、彼には日本語で話しかけていますが、返事は仏語で返ってきます。

我々は生まれた時から、聞き話せる母国語に対して、あまりにも無頓着なのではないのでしょうか。何にも苦勞せずに話せるようになる母国語に対し、勉強するのに大変苦しい外国語。これからもうとんと大切になる外国語、小さい頃からの訓練が大切だと思います。自分のやりたいことの達成については、人生が二回あっても足りないくらいやりたい事ばかりで、何を畫いたらいいのかわからない。

まずフランス料理、もう二十年近い経験なのに、何と知らないことが多いことか。まだまだ修業が必要で、もう少し暇ができた時点で有名なレストランにでも研修に行こうと思っています。

それに仏語、日常生活には困らなくなりましたが、何かを深く知ろうとするとやっぱり限界があるように思います。まだまだ訓練の

必要が多いようです。英語については中学、高校と一人前には勉強しましたが、日本もフランスと同様、会話教育不十分のため、今の私の段階では仏語の方が理解できるようです。やはり言葉の勉強には、若い時にその国へ行って慣れるのが一番良いのでしょう。その意味で、今後機会があれば、英国にも仕事をしに行きたいと思っています。

それにもう一つ、もっと勉強したいのが、大学卒業後日本では始めていたモンテカルロで先生について続けている油絵です。モンテカルロで仕事をしていた頃はイタリアが近いので、よくフィレンツェやベニスへ出かけ、絵や建築物を見に行ったものです。日本も美しいけれど、イタリアも美しい。この二つの美しい文化を統合できれば、何と素晴らしい世界ができるでしょう。

一生退屈しないためにと思いつてこの職業を選んだのですが、今は逆に忙しさに追い回されている毎日です。

(一九九〇年九月四日パリにて)

一冊の本  
菊屋奈良義 著  
『自然にドキドキ』  
白水社・昭和63年刊  
一般教養科  
教授 吉田 博

現在の日本では、官・民ともに経済至上主義による自然破壊が進行している。去る七月二十八日にもそのような様子がテレビで放映され(NHKスペシャル、日本リポート列島・ふるさとの風景)がわるととき胸が痛む想いで見た人は、少なくなかったのではないかと。ところで、真の自然保護の原点は自然体験にあると考えられる。私は仕事の性質上、野外に出ることが多く、それなりに自然体験を積んで来たつもりであった。しかし、この本に出会い、自然とのつき合いがまだまだ足りないことを思い知らされた。

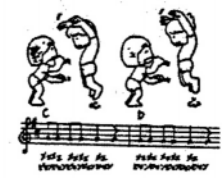
著者の菊屋奈良義さんは、大分の自称田舎っぺ人間、幼時からの豊富な自然体験で身につけた自然観を基に、現在活発に自然観察の指導、自然保護活動などに取り組んでおられる。したがって、本の中に取り上げられた事例も大分

私ができるだけ多くの人が、自然を理解するためのマニュアルとして、また、自然保護活動の出発点として、この本を活用されることを願っている。最後に、印象に残った文章を一つ。

「生命は誕生しない。伝承するだけ。」

## 子どもの心 (6)

児童学科・幼児教育科  
助教授 笠井キミ子



最近、音楽の勉強を楽しく思うことがあります。

小さいころ、よく歌ったメロディが浮かんできます。「靴がなる」「責い目の人形」「カナリヤ」など、考えて見ると童謡で育ったんだなと思います。そして今も、これらの歌は声に出さなくても心に響いてきます。

子供のころのさまざまな出会い、発見と同じように、歌との出会いはとても貴重で、言葉にあらわれない程の情感に溢れています。

こうした歌をただ無邪気に歌っていたころから徐々に、歌の故郷や作詩、作曲者を知り、歴史の重みと共に知識が膨らんでいきます。そして改めてその歌の真価を知ることが出来ます。

現在は少しずつ文献も増え、楽譜も豊富になり、音楽を読むことも容易になりました。一曲の歌から、数冊の本との出会いも生まれます。

また、わらべうたや文部省唱歌から、外国の歌へのつながりも分かります。わらべうたで見られる音階は各国の民族音楽と通じていますし、唱歌のなかには外国の民謡や歌曲などを原曲としたものも多くあります。

例えば、唱歌「霞か雲か」は、原曲がドイツの歌で、その詩とのみごとな調和に出会うことは新たな感動を味わうものです。

最近の歌は作曲技法も複雑になり表現法も多種多様です。しかし子供達にとっては楽しく歌いやすい歌というのは、大きな魅力のひとつなのではないでしょうか。

歌はうたい継がなければなりません。子供達の歌との出会いが心の琴線に触れ、生涯の基盤となるものであって欲しいと思います。

# 併設校の話題

## あさひ幼稚園

「先生、来て来て、早く来て、かえるがたくさんいるよ！」

園児の一人が、赤土山から叫びながら走ってきた。「ほら、かえるの手がいっぱいでしょ！」まるで宝物を見つけたように語る園児の指さす方を見上げた先生は、思わず「なるほど」と感心してしまつた。かえるの手の正体はいちよりの木の葉っぱだった。

二期が始まったばかりのある朝、園児たちが桜の木を取り囲み、上を見て大さわぎ。そこには一匹のへびがとろろを巻いて、園児とにらめっこ。夏休みの間、のんびりと園庭ですこしていたへびも、まっ黒に日焼けして登園してきた元気なあさひっ子にびっくりしたよつだった。

## 吉岐幼稚園

十月になり、園庭の木々も色づ

いてきた。秋、秋、秋！秋の深まりの中で、子供達が楽しみにしている行事がある。それは、園庭で作っているさつまいもの収穫。その日はみんなで芋掘りだ。とれたものは焼き芋にして、残ったお母さんへおみやげだ。園児もお母さんも先生も、みんながこの日を待っている。

十一月一日は来年度の入園申込受付開始日。今年は、特に三歳児の入園希望が多いようだ。二歳までは、家庭の中で親と一語に過ごす方が情緒の安定には良い。でも三歳になると子供は外の世界を求め、社会的性が芽ばえてくるそう。幼稚園には可愛いお友達がいっぱい。小さな園児達も元気に遊びまわっている。

## 三陽中学校

九月十六日に行われた高校との合同運動会。一年中から三年生まで全員が行うプロムナード(体列変換)、成長期にあるだけに、体の大きさは様々だが、一系乱れぬ展開ぶりは、よく練習されていて美しかった。高校生の騎馬戦や棒倒しとともに、運動会名物がまた一つ増えた。

## 三陽高校

九月二十一日から二十七日まで四泊五日の北海道修学旅行に出かけた二年生。雄大な自然に感動もひとしおの旅だった。しかし、知

床岬からわずか三十キロメートル霧の向こうに国後島を望んだときは、敵として存在する国境の地の緊張を肌で感じたようだった。自然・風土・歴史など修学旅行で学ぶものは多いが、それに加えて、当面する政治課題に触れた旅でもあった。

## 中村学園女子高校

今年が創立三十周年。この記念に、何か思い出に残るものはないか。いろいろ思索した結果まとまったのが、最近流行している人文字。十月四日木曜日。全校生徒二千二百人余が校庭に集合。初めての挑戦に大賑いで悪戦苦闘すること約一時間。長さ四十五m、幅二十八mの水仙の花をあしらった巨大な校章が完成した。この日に作った人文字は航空写真にとり、生徒一人一人に記念品として配られる予定だ。



# 熱球は乱舞して

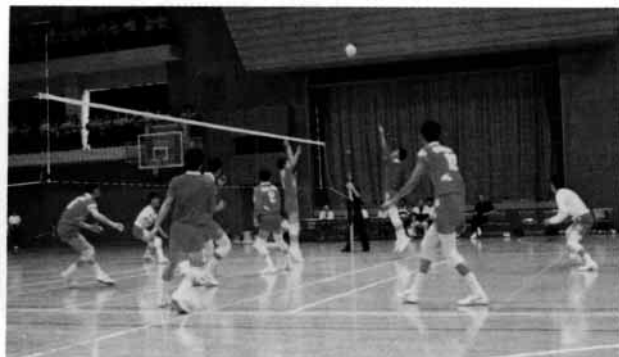
一般教養科長 教授 重松 勉

ヒヨんなことから全日本男子バレーボールチームを招聘することになった。特に新入生に活気を呼びもどすことが、今年的一般教養科の文化活動の一環にあったので、全日本男子バレー選手団を招いたらという意見が教養科会議で検討され直ちに実行に移された。

実は全日本男子の南監督は、かつて桜井教授が高校生時代バレー部でたたきあげ、オリンピックへの道をひらいてやった教え子ということもあって、トントン拍子で話が決まった。

六月二十八日、南監督以下二十数名の選手団が来校した。短身の私が、身長二メートル近い選手団を体育館へ案内していく姿は、まるで小人のピエロが巨人たちを引き連れていくよう、みじめな思いをしたものだ。

公開練習が始った。ウォーミングアップの激しい動きを目の前で見ているかぎり、伸びやかなジャンプは、荒野を突つ走る豹のようであった。テレビで人気絶頂の若い選手たちは女子学生の前に曝され、彼等の一つ一つの行動が学生たちの熱い声援や黄色い嬌声の的になった。体育館の天井すれすれまであがるボール、猛烈な音をたてたたたきつけられるボール、片手でレシーブされ、相手側に打ち



返されるボール、まるでボールはマジックにかかったように空中を乱舞していた。五月に入って、けたるさを感じるいわゆる五月病にかかった新入生にとって、躍動する若松たちのトレーニング風景は、きつと彼等に活力を与えることができたのではなからうか。

著書出版  
○一般教養科 大野透教授  
「誤解だらけの日本語」(文学)  
「伝社」を平成二年五月三十日に発行。定価四六〇円。

# ライブラリー散歩

図書館からこんにちは！ 今回から「図書館からのお知らせ」を掲載することになりました。二十一世紀に向けてより近代的な図書館となった本学の図書館の機能や内容についてお知らせいたします。

今回は「コンピュータによる図書の探し方(コンピュータ検索)」を特集しました。

まず皆さんは「図書を探す」時、どんな方法で探しますか。書架に行つて歩いて探しますか？ コンピュータ端末でディスプレイを見て探しますか？ 私達の図書館は、全館開放方式ですから時間に余裕のある人は、本を眺め楽しみなが探すのもいいでしょう。しかし、時間に余裕のない人は、無駄のない上手な探し方をいたしましょう。

それには、コンピュータ検索が最適です。図書館二階のカウンター横に検索専用のコンピュータ端末が置いてあります。いつでもすぐ使える状態になっていますので、探したい図書の検索語(書名中の単語・書名・著者名)をキーボードで打ちます。検索語は、カタカナで、例えば、セイカカク(生化学)、リンショウ(臨床)、コクコ(国語)……と言つようにカタカナで打ちます。ここで気が

かれましたように、検索語は全て、濁点、半濁点を省略していただきます。また、小文字は大文字に直していただきますので、ガッコウ(学校)はカッコウ、キョウイク(教育)はキョウイクと打ちます。

検索語は、十五文字まで入力できます。それ以上の文字数になる場合は、十四文字まで打ち、その後「」の記号を付けます。「」の記号は、書名等が途中までしか記憶にない場合も有効です。例えば「エイコニツヨクナル」(書名が「英語に強くなる口語表現」の場合)とすれば、これに該当する本が何件か回答されます。カタカナのキーボードに慣れていない人は、ローマ字変換もできます。

他の機能として、分類からも検索することができます。この場合はHELPキーから分類記号・PF14を指定し、分類記号の数字を打ちます。コンピュータは、会話型になっていきます。ディスプレイの下線以下の指示に従つて操作すれば、初心者でも簡単に回答が得られ、その本の所在を示す階層や分類記号が表示されます。

現在和書は、約六万五千冊

A CR100

\*\*\* 所蔵検索 \*\*\*

あなたが探したい図書あるいは雑誌の「タイトル」「著者名」「タイトル中の単語」のいずれかをタイプしてから[ ]キーを押して下さい。  
条件を指定する場合は、検索語をタイプする前に該当するキーを押して下さい。

検索語	該当件数	<条件指定>
1. セイカカク	225件	図書 → PF3
		雑誌 → PF4
		タイトル名 → PF11
		著者名 → PF12
		単語 → PF13
		分類記号 → PF14
		書籍ID → PF15

2. アミノサン

条件指定案内 → HELP 入力モード切換 → PF16  
該当書誌表示 → [ ] 前の検索語へ → BSKIP 終了 → PF1

# 中村学園事業部の食品センター完成

平成二年九月現在の事業所数が百二十九カ所。給食部門の拡大と外部販売の広がりに伴つて食材部門を大きく発展させるために、福岡市博多区諸岡に建設中だった中村学園事業部食品センターが、七月十一日竣工式を終え、七月二十三日から全面営業活動を開始した。

同センターには、重量物倉庫、出荷待機冷蔵スペース、コンテナ洗浄室などが拡充配置された。他、完全空調された鮮魚処理室やカット野菜室および機能アップした冷凍庫など、食品の品質管理に最適な施設を充実させた。また、こうした食材はO・Aセンターのコンピュータにより、受注から配送まで、手際よくスピーディにコントロールできるように進められている。

近年、給食事業は大手外食産業や清涼飲料メーカーも進出し、ますます過熱気味。事業部にとっても脅威となっている。こうした厳しい環境の中で、従来以上のサービスと品質管理をもつてお客様へのニーズに応え、よりパワーアップする中村学園事業部にとって、この「食品センター」の完成は大きな期待を担っているといえる。

# 博士号学位取得

食物栄養学科・食物栄養科  
伊藤和枝助教(臨床栄養学)  
平成二年五月一日付で医学博士(久留米大学)の学位を取得。学位主論文は「分割尿を用いたナトリウムならびにカリウム摂取量推定法の検討」。

食物栄養学科・食物栄養科  
青峰正裕助教  
(心臓電気生理学)  
平成二年九月二十八日付で医学博士(大分医科大学)の学位を取得。学位主論文は「モルモット心室筋におけるアミオダロンの電気生理学的效果」。

教職員の動き  
退職(平成二年七月三十一日付) 助手 南部 庸子  
新任(平成二年八月一日付) 学生課員 塚田 昭人  
配置換(平成二年九月一日付) 女子高 柴田美智子(学生課員) 経理係

編集後記  
空は澄み渡る  
スポーツの秋  
思索の秋 芸術の秋  
旅行の秋  
飛行機雲が一筋  
秋の思い出……見つけた？